



『移住希望者続々!』

鬼石振興課では昨年9月から2月末にかけて、県外在住の人を対象に、鬼石地域での暮らしを楽しめる移住体験ツアー「田舎暮らし体験旅」を開催しました。

鬼石のゲストハウスに滞在し、地域の暮らしを味わう「体験」を楽しんでいた今回の移住ツアー。大好評のうちに定員が満員となり、ツアーの参加者40人の中から、実際に鬼石に住みたいという人が何組も誕生しました！そのうち3世帯8人は鬼石地域への移住を決定し、既に空き家探しを始めています。

ほかの複数組も2月末時点で移住に向けて前向きに調整中です。写真は空き家探しの様子です。素敵な鬼石の暮らしが始まりますように！

地域おこし協力隊
吉田 まり子
問い合わせ 鬼石振興課(☎523111)



協力隊の活動はこちら

地域づくりの便り

地域づくり協議会で防災の取り組みを推進!

問い合わせ 地域づくり課(☎402211)

小野地区は、市の北部に位置する地域で、藤岡ICや北藤岡駅があり交通の便が良いところです。令和5年6月2日には「小野地区地域づくり協議会」を設立し、住民の自主的かつ主体的な活動を推進しています。今回は、昨年度に実施した地域づくり協議会の取り組みを紹介します。

小野地区は、烏川に近く標高が低いため、地域のほとんどが浸水想定区域とされており、防災面で課題があります。

「小野地区地域づくり協議会」では、このような地域の課題を解決するために、独居高齢者の個別避難計画を作成しました。協議会の委員が231人の対象者を一軒一軒訪問し、災害時に「どこに避難するのか」、「誰が支援してくれるのか」などを相談して決めました。作成した個別避難計画は、家族や支援者のほか、区長や民生委員などにも情報が提供され、災害時に役立てられます。

このほかにも地域づくりセンター小野でマイ・タイムライン講習会を開催するなど、小野地区全体で、防災に力を入れて取り組みを

進めています。6年度には、地域のつながりを育む活動として、9月に「第20回小野地区芸能発表会」を市民ホールで開催予定です。市制施行70周年記念事業に位置付け、例年にも増して盛大に行います。ぜひお越しください!



笑顔を咲かせる花のまち協働づくり事業補助金

市民と協働して花と緑がふれる公共空間を創出し、日々の暮らしの中で草花を愛でる優しい心を育み、地域の絆を深めることを目指し、身近な公共空間の美化を行う団体に補助金を交付します。

区、自治会など
定員 60団体(先着順)
募集期間 8月30日(金)まで
対象活動 ①花と緑プロジェクトⅡ指定管理者の自主事業と併せた公園の花壇を維持管理②公園アダプトⅡ公園の清掃・維持管理③地域公会堂等花壇づくりⅡ公会堂などの花

壇で年間を通した日常管理④環境美化活動Ⅱ公共空間の清掃・除草・植栽
その他 必要書類はホームページまたは担当課窓口で配布しています
問い合わせ ①②Ⅱ都市施設課(☎239850)・③④Ⅱ環境課(☎402264)

住宅用再生可能エネルギー設備等設置費補助金

住宅用太陽光発電システム、定置用リチウムイオン蓄電システム、電気自動車等用充放電システム(V2H)を新たに設置する人に設置費の一部を補助します。

の付いた居住実績のない住宅を購入して居住する
補助対象 ①住宅用太陽光発電システムと定置用リチウムイオン蓄電システムの同時設置②定置用リチウムイオン蓄電システムの単体設置③V2Hの単体設置④は①・②との同時申請が可能

置の場合は1kWh当たり2万円(上限10万円)、単体設置の場合は1kWh当たり1万円(上限5万円)▽V2HⅡ定額5万円
申請期限 令和7年3月26日(水)
その他 ▽提出書類はホームページでダウンロード、または環境課でも配布しています
▽工事着手・購入前の事前申請が必要ですので、注意してください

対象 市内在住または在住予定で、市税に滞納がなく、次のいずれかに該当する人▽市内において、自ら居住する住宅に対象設備を設置しようとする(住宅で店舗などの用途を兼ねるもの、同一敷地内の倉庫の屋根などに設置する場合も含む)▽市内の対象設備

補助金額 ▽住宅用太陽光発電システムⅡシステムを構成する太陽電池1kW当たり2万円(上限8万円)▽定置用リチウムイオン蓄電システムⅡ太陽光発電システムと同時設

申請・問い合わせ 環境課(☎402264)

100歳のお誕生日おめでとうございます 市長から表彰状が贈られました



いづか 飯塚 ます彥さん (2月5日生まれ・下大塚)



はぎわら つねお 萩原 恒夫さん (2月10日生まれ・藤岡)